



燕市「読解力」育成プロジェクト通信

教科指導プロフェッショナル研修 レポート

第3回 藤原大樹 先生(お茶の水女子大学附属中学校)
 未知の値を含めた数量の関係を式で表すにはどうすればよいか？
 ～中学校数学 1年生 文字と式～



ねらいをもって机間指導を行う

- ・ 1 周目の机間指導では、主に問題の理解具合に着目する
- ・ 2 周目の机間指導では、主に各生徒の考えや表現をよりよくするための問いかけや助言を行ったり、その後の扱い方を検討したりする。
(指導案より)

Aさんが、自分の考えを最後まで説明しきれずに、困っていると、文字式に表されたAさんの考え方を読み取ったBさんが代わって説明を助けてくれました。AさんとBさんは、二人で図と式を見比べながら、しばらく相談していました。Bさんが説明してくれたことにAさんは納得し、クラスから拍手が起こりました。

生徒が説明するとき

- ・ 話し手が聴き手の表情を伺いながら話せるように、立ち位置と身体の向きについて必要に応じて指導する。
(指導案より)
- ・ 授業者の立ち位置は、話し手と聴き手の両方の表情が見える位置に立つ。
(協議会での指導より)

【参加者感想】

- ・ 生徒の考えの引き出し方、机間指導について大変参考になった。改めて、課題把握のために読解力育成の大切さを実感した。また、中学校に進学するに向けて、小学生のうちに指導しておくべき発言の仕方、説明の仕方(体の向き、意見・理由・根拠の順序等)を学ばせていただいた。早速、朝のスピーチなどから実践していきたい。
- ・ 読解力とは？と考えたときに、これまでも行ってきた式を読み取る力、図から式を導き出す力などがそれだ！と再確認することができました。自分の言葉で考えを説明し合う場面では正しい用語を使う力も必要だと感じました。小学校の頃から、言葉で正しく表すことを積み重ねていく必要を感じました。勤務校に戻って、他の職員にも伝えたいと思います。有意義な研修会をありがとうございました。

第4回 阿野幸一 先生(文教大学 国際理解学科)
 文章の概要と要点を捉えること



・阿野先生には昨年度はオンラインでの講義をしていただきました。昨年度、読むことの目標について→「必要な情報を読み取る・概要を捉える・要点を捉える」とご教示いただきました。英文を読む際にも、「**全部を日本語に置き換えてポヤーンと読むのではない**」ということを実際の授業で示していただきました。これは、全ての教科書において言えることであると再確認できました。

3段階読み リーディング力の育成

- ・Round 1 : 概要、大意を読む
 - ・Round 2 : 詳細をおさえる
 - ・Round 3 : 表現につなげる
- 教科書の構成を活用して『読む』**

【参加者感想】

- ・印象的だったのは、生徒が主体的に考える時間が確保されていたことです。生徒が間違っているから考えようとする発問、ただ直訳するのではなく文脈を理解した上で訳すことに気づかせる技、何度も本文に触れる授業展開。全てを教師が説明するのではなく、生徒が読まなければ読む力はつかないと感じました。
- ・普段の授業で進めた方を迷っていた『読むこと』の指導場面をみせていただき、自分の授業で取り入れてみようと思うところがたくさんありました。また、どのような意図で教科書がつくられたのか知ることができ、今後、授業改善を進める上でヒントをたくさんいただくことができました。大変ありがとうございました。

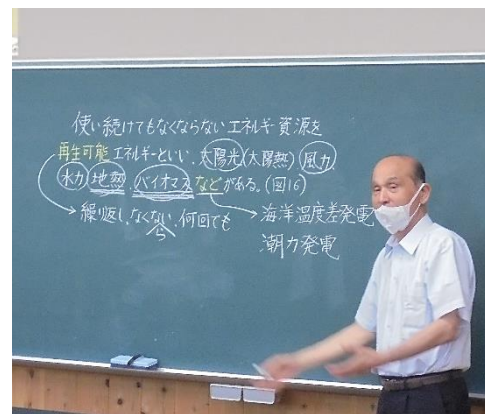
第5回 鍋木良夫 先生(NPO 法人 授業高度化支援センター)

教科書を使い倒そう

～読み解く視点をどこに位置付けるか～

鍋木先生の研修資料より

- 読めない文（正確には「記号（文、言葉、数、図、グラフ等）」に出会ったら、読み解く視点を獲得させない限り、学力の振るわない子どもは読み解けないまま卒業となる。
- そうならないために、つまり読み解ける子どもを一人でも多くするために、読み解く6つの視点を、読む前、あるいは読み進める過程で教示していくことが求められる。



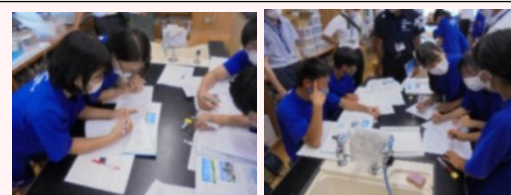
- ・生徒には事前に教科書を読み、指定部分をノートに書き写してくるように指示されていました。(予習)

使い続けてもなくなるエネルギー資源を再生可能エネルギーといい、太陽光（太陽熱）、風力、水力、地熱、バイオマスなどがある。

- ・その内容について「わかり具合」を確認し、用語、表現について説明しました。
再生可能→繰り返し・なくなる・何回でも など→海洋温度差発電 潮力発電

チャレンジ問題

太陽光発電、風力発電、水力発電、地熱発電、バイオマス発電、海洋温度差発電、火力発電、原子力発電のうち、持続可能な社会を支えるエネルギー共有源となる供給源はどれだと考えますか。

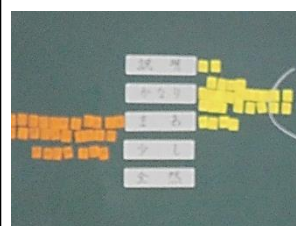


生徒達は、熱心に教科書を読み込み、考えを説明し合って、自分の意見をまとめようとしていました。

↓生徒達の「わかり具合の変化」
左が授業開始時、右が授業終了時

【参加者感想】

- ・小学校の低学年から、教科書を読むことを大切にしていきたいと思います。研修で教えていただいたことを、子どもたちに合わせてどんな工夫ができるか考えながら取り組んでいきたいと思います。
- ・あれだけ難しい内容のものを子どもたちが主体的に学んでいたことに驚きました。あのような内容は教師が説明して終わりにしてしまうことが多かったので、子どもたちに読ませて、理解度をチェックして、分からないところは説明をして、発展問題で考えさせるという授業方法を試してみたいと思いました。



説明できる
かなりわかる
まあわかる
少しわかる
全然わからない

読解力育成の視点により、専門教科等によらず、授業づくりを話題にすることができます。

お互いの授業を参観し合うことも参考になるはず。『**みんなでやってみよう!**』